

各科の現況と展望

消化器内科この一年

消化器内科医長 齊藤 裕樹

平成17年3月まで当科スタッフとして勤務されていた谷津先生が阿寒町の診療所に転勤されてから、4月以降は玉木先生が赴任し、5人体制を維持し病棟、外来業務を行っている。当科が診療している疾患分野が広いため、それぞれの得意分野の患者さんを診療していくのが、よりストレス少なくできるものと考えているが、なかなかそうはいかない状況は続いている。ただ当科スタッフ5人ともフルに動けるので、その点で助かっていると言える。

昨年も述べているが、4人の研修医の先生方には当科業務のサポートをしてもらったお礼と充実した消化器内科研修を受けさせてあげられなかったお詫びをしたい。今後さらに知識、技術を習得し、飛躍できるよう期待する。

今年度から循環器呼吸器内科の先生方がまた赴任されることになったのは誠にありがたいことであった。循環器内科の総引き上げによる影響を経験していることもあり、同じ内科のなかで関係を悪くしないよう努めていきたい。

平成17年の当科診療実績を振り返ると、外来患者数や外来収益は従来に改善してきている。これも各科先生方および病診連携による上川北部の病院・診療所の先生方の御紹介のおかげと思わ

れる。しかし、上部消化管内視鏡などの外来検査件数がまだ増加させる余地があるため、今後の課題のひとつとなる。私個人としては外来・病棟業務について、まだまだ未熟な考え方でしか対応できていないため、今後も当科スタッフや各科先生方にご迷惑をおかけすることも多いと思う。もともと大所帯の医長の器ではないため、重責を強く感じる時は特に逃げ出したい気持ちでいっぱいである。

以下当科の平成17年1月から12月までの検査件数を挙げる。

- 上部消化管内視鏡：1974件
- 内視鏡的胃粘膜切除術：20件
- 下部消化管内視鏡：960件
- 内視鏡的大腸腫瘍切除術：97件
- エコー（甲状腺、頸部血管を含む）：1265件
- 内視鏡的逆行性胆管膵管造影（碎石術、ドレナージ術を含む）：94件
- 胃瘻（造設+交換）：40件
- 経皮経肝胆管ドレナージ（含交換）：55件
- 経皮経肝胆嚢ドレナージ（含交換）：12件
- 超音波内視鏡検査：48件
- 腹部血管造影（含治療）：38件